

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2026年3月2日（月）13時30分～15時00分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：太田耕司、長尾透、深川美里、永井洋、勝川行雄、美濃和陽典、鈴木竜二、安東正樹、
日下部展彦、大朝由美子、新沼浩太郎、本田充彦、寺田幸功、新永浩子、山村一誠

欠席理事：和泉究、米原厚憲

出席監事：大内正己、中村文隆

欠席監事：熊谷紫麻見

また、一丸事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 太田会長、深川副会長、長尾副会長、大内監事、中村監事が署名人となることを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2025年12月22日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

本理事会の各議題は、太田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 新規加入者の承認（資料3、勝川）

2025年12月17日～2026年2月25日までに正会員入会申請22名、準会員入会申請2名、
2026年度からの準会員入会申請2名、準会員から正会員への移籍3名の申請があり、賛成
多数で承認された。

II-2. 年会開催地について（資料4、永井）

2027年9月の秋季年会を広島大学で開催することが提案され、賛成多数で承認された。

II-3. PASJ 編集委員会からの議題（資料5、安東）

太陽系分野担当の編集委員として春日敏測氏を追加すること、X線分野担当の編集委員を
山口弘悦氏から水本岬希氏に交代すること、本文掲載料半額化を1年延長すること提案され
た。予算作成時に掲載料半額が計画されていたほうがよかったとのコメントがあった。これ
までキャンペーンの頻度とその意義について意見交換がなされ、半額化によって投稿数が
2割増であり効果があることが説明された。賛成多数で承認された。

II-4. AI 学習を目的とした学会和文著作物の二次利用について（資料6、永井）

OUP社の「AI学習を目的とした論文二次利用」に天文学会が保有する日本語コンテンツ（天
文月報・年会予稿集など、バックナンバー含む）を提供する提案があった。先行するPASJに
おける収入の状況について共有された。日本語コンテンツはOUPの出版物ではないため、提
供してよいか判断に迷うという意見が出されたが、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料3、勝川）

2025年12月17日～2026年2月25日までに正会員から準会員への移籍14名、正会員3名、準会員5名の退会があったことが報告された。

III-2. 外部相談窓口設置の報告（資料7、長尾）

2026年4月1日から外部相談窓口を設置すること、相談フローについて報告がなされた。会員への周知は今後行うが、次回年会時の会員全体集会でもアナウンスすることが報告された。

III-3. CoC ハラスメント防止ガイドラインTFメンバーの変更（資料8、太田）

セカンドフェーズに入るにあたりタスクフォースメンバーの変更が報告され、小松英一郎氏と新永浩子氏が退任し、新たに、藤沢健太氏と高橋慶太郎氏が参加することが報告された。実務理事会リエゾンとして、野村英子氏から長尾透に交代になった。また、タスクフォースの今後の検討事項について報告された。

III-4. 日本学術会議次期会員候補者の推薦について（太田）

日本学術会議から日本天文学会に、新興・分野横断分野として2名の新規会員推薦の依頼があり、代議員からの意見を踏まえ、日本学術会議に2名を推薦したことが報告された。

III-5. 第9期日本天文学会代議員選挙開票結果追加報告（永井）

代議員選挙で当選の1名の方が辞退され、補欠第1位が代議員に就任したことが報告された。

III-6. 若手国際交流研究会基金の募集について（太田）

若手国際交流研究会の趣旨とともに、来年度春から募集を開始し来年度中に開催する計画であることが報告された。募集のためのホームページ等の準備状況について説明があった。

III-7. 年会実行委員会からの報告（資料9、代永井）

2026年春季年会（京都産業大学）の準備状況、2026年秋季年会（岡山理科大学）の準備状況、新年会システムのための活動として、紙版予稿集の廃止の通知をおこなったこと、業者選定を完了したことが報告された。寺田開催地理事より2027年春季年会準備状況として、会場となるソニックシティ視察と予約、懇親会の手配を行ったことが報告された。

III-8. 天文教育委員会からの報告（資料14、大朝）

2026年春季年会にて、「デジタル教材＋生成AI時代の天文教育」をテーマとして日本天文教育普及研究会と共催で天文教育フォーラムを開催すること、講師紹介プログラムに1件、監修者紹介プログラムに4件（うちキャンセルが3件）の紹介を行ったこと、2026年春季年会のジュニアセッション開催後に合わせて「中高生・教員と若手研究者の「天文対話」第三回」を開催すること、IAU OAEの活動が報告された。秋季年会でも天文教育フォーラムは実施予定か質問があり、開催する予定であることが回答された。監修者紹介プログラムについてキャンセルの状況について説明があり依頼受付方法について議論がなされた。

III-9. 各事業の報告（各担当理事）

日下部月報理事より年会時に対面で編集会議を開催予定であること、新永ダイバーシティ理事より学術フォーラム「STEM分野の未来を支える多様性とは：教育・探究・キャリアをつなぐ対話—理系の男女差を解決する鍵は、小中教育？家庭？地域？」の報告があった。また、新永ダイバーシティ理事から、CoCに関連して、入会時と年会投稿時に行動規範遵守に同意

を求める方法について質問があった。具体的な実装方法についてタスクフォース・年会実行理事とやりとりしながら、実務理事会で引き続き議論していくこととした。山村ジュニアセッション担当理事より、春季年会最終日のジュニアセッションの準備を進めており 69 件の講演があること報告された。本田年会開催地理事より 2026 年秋季年会の準備状況も報告された。

III-10. 事務所近況報告（一丸）

大内監事の追加手続を完了したこと、若手国際交流研究会についても新規事業として内閣府に届け出ることが報告された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2025 年 12 月 22 日）議事録（案）

資料 3 加入者・移籍の承認、退会者報告（2025 年 12 月 17 日—2026 年 2 月 25 日）

資料 4 年会開催地について

資料 5 PASJ 編集委員会からの議題と報告

資料 6 AI 学習を目的とした学会和文著作物の二次利用について

資料 7 外部相談窓口設置時点の相談フロー

資料 8 日本天文学会 CoC ハラスメント防止ガイドライン TF メンバーの変更

資料 9 年会実行委員会活動報告

資料 10 天文教育委員会からの報告

2026 年 3 月 2 日

会 長： 太田 耕司 印

副会長： 長尾 透 印

副会長： 深川 美里 印

監 事： 大内 正巳 印

監 事： 中村 文隆 印